

## 長野東郵便局の業務量増加に伴う対応について

### 1 内容

東日本設置の各貯金事務センターが発送する自動払込受付通知書及び通帳等の発送事務が長野貯金事務センターに集約されることから、長野東郵便局で引き受ける郵便物が増加するため、その処理方法を一部変更する。

### 2 業務量の増加状況

別紙のとおり

### 3 処理方法の変更内容

#### (1) 現状

長野貯金事務センターが委託契約した業者が長野東郵便局に郵便物を持ち込み後、同局が説明差立処理を実施。

#### (2) 変更後

長野貯金事務センター内の1室を借りて(無償)、長野東郵便局社員2名(予定)が同センター内において引受から赤郵袋の作成までの処理を行い、同局の集荷対応後、差立処理を実施。

### 4 実施時期

2018年1月下旬以降、準備でき次第



## 長野貯金 JC のシステム変更に伴う差出量の変動と対応について

長野貯金 JC における通帳等の再発行、自動払込受付通知発送事務の業務再編に伴い、当局に差し出される郵便物の発送量が変更となりますので、下記により対応願います。

## 1 簡易書留及び特定記録郵便の差出量の追加

	郵便種類	2018.1.10～	2018.1.15～	2018.1.22～	2018.8 以降	2019.1 以降
平均日別	簡易書留	346 通	562 通	1,036 通	1,193 通	2,775 通
増加量	配達記録	1,500 通	2,400 通	4,065 通	3,918 通	4,023 通
取扱い上の特徴	簡易書留は発行順差出し、リードタイム厳守。 配達記録は 9 割が順差出し。差立ては間に合い次第で了承。(年繁の状況では、通販関係業者はリードタイム要求が厳しいため、個別対応を想定。)				—	未定
授受方法の変更等	当面は、現行通り。 取扱通数の拡大により、リードタイムの確保が難しくなるため、1 月下旬をめどに、長野貯金での出張引受に移行。				未定	未定
備考	東京→仙台→横浜の順にシステム統合					

## 2 授受方法の変更及び想定される作業等

当面は、リードタイムの確保が配達記録を余裕承諾としたため、確認期間として現行通りとするが、取扱い通数の拡大とともに、リードタイムの確保が求められると、引受～差立～赤郵袋授受による逐次処理を想定した出張引受を前提に対応せざるを得ない。

この場合、11 時～18 時 30 分を基本に、2 名以上の必要時間配置を行う。

処理案)

引受 → 引受検査 → 引受入力 → 差立区分 → あて先締め処理 → 郵袋作成 → 取集引渡

## 3 長野貯金 JC での出張引受についての課題等

- (1) 出張引受のための長野貯金 JC の場所、使用や情報機器の持ち込み手続き等は検討依頼済み  
(場所は、1F 通用口付近を想定。約 50 m<sup>2</sup>の施設設備、エアコン、テーブルあり)
- (2) 作業要員の育成、取集便の設定(長野東局集配部には打診済み。)は検討。  
作業時間は、基本的に 18:30 を目途。
- (3) 必要物品等は、長野東局負担で調整。区分柵は要確認。
- (4) 社員の所属は、分室勤務で検討。

## 4 その他

貯金 JC の業務統合に伴い、従来の懸案である、ゆうパックの結束外授受は長野貯金 JC 発行に移行するため、無くなる見込み。